

DigitalCamera倶楽部

APR 2022
Vol.013

梅の時季に計画をしていた、鎌倉山にある 櫓亭 です。

古い建物の一階の前庭には手入れされた庭があり、右の方向には富士山が見えます。暖かくなって水蒸気が多くなり柔らかな表情になりますが、真冬には凜とした姿が見えます。



高低差約20mほどありますが、遊歩道を歩くと手入れされた竹林の中に石仏が瞑想をしているのでしょうか・・・



大分県の国東地方から移設された、百崖仏や鎌倉の武家の石造りの門などが配置されていて、適度な散歩になりました。



勿論、蕎麦も美味しく 庭で採れた蔦の薹の天ぷらは綺麗に揚げられてほろ苦く、春の訪れを感じました。



意味もなく残る石段落椿 橋本美代子
やすらぎは貌を重ねし落椿 長谷川秋子
紫陽花の頃にもう一度企画してみたいと思います。

金井寿雄のページ

河津町
桜の季節がやってきました。





金井陽子のページ



伊豆河津町： 晴天に恵まれたが雲の動きが速かった。昨年河津桜祭りが開催されなかったためか、菜の花や水仙の花が少なかった。さらに上流に大きな看板が出現して、これ以上左に寄れなくて残念でした。





大きな鯉が泳いでいました。すぐ近くには小鷺が魚を狙っていました。川に入る時、苔に足を取られたのかズルッと滑っていました。まさかと思いシャッターチャンスを逃しました。





畑の中にある桜です。ずいぶん大きくなりましたが、満開の姿は初めてです。のどかでした。



笹原虎夫のページ

八菅山の夏鳥



美声のオオルリ

黄色のキビタキ



鳴き声の地味な
ヤブサメ

夜空の世界



木星と
ガリレオ衛星

五つ星 スバル
プレアデス星団



クレーターも綺麗な
十三夜

鈴木義則 のページ

師走の薬師公園

オミクロン株の騒ぎの中、人混みは避けていつも行く薬師公園に行ってみました。季節は冬ですが風景には秋が残り、世に言う温暖化すらも考えさせます。



楓の木はまだまだ落葉せず、空の雲とも相まって秋景色でした

日差しを浴びて遊ぶ
家族ずれも軽装



唯一見つけた野草の花だけが冬を告げているようでした



園内の小道、雨水で根の下が大きくえぐられている。いずれ木の重みに耐えられず崩れるのか

つがいの渡り鳥で冬を知る



対岸の梅のみが春を待つ姿を見せる

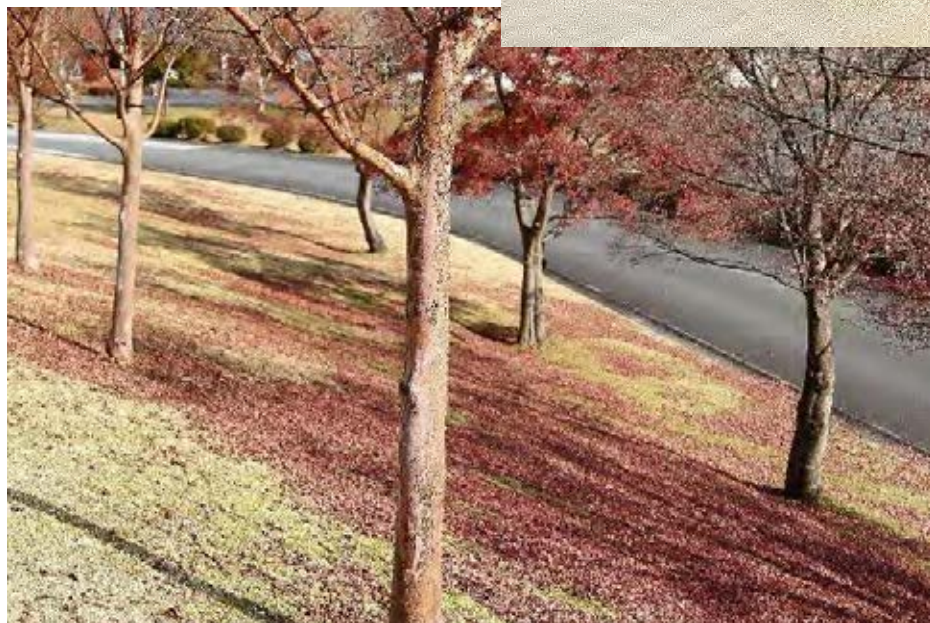
鈴木瑠美子 のページ 秋の光

私の好きな光と影を集めてみました。冬の光は長く影を伸ばすので柔らかく感じます。



宮ヶ瀬ダム脇の公園、
東屋が落ち葉に合う

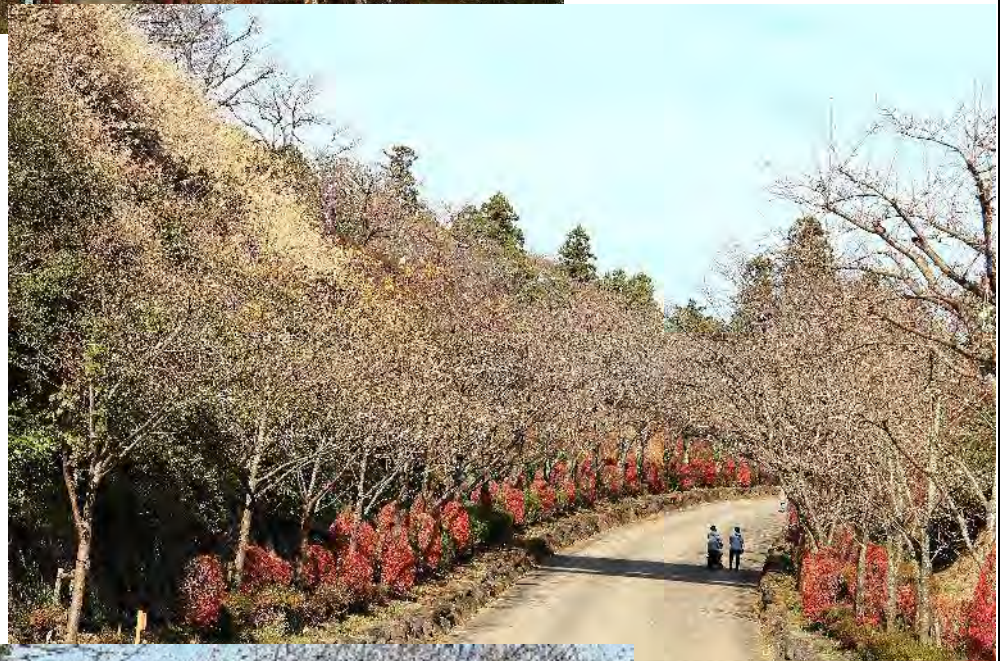
落ち葉と道に落ちた陰は柔
らかい





公園を横切る歩道橋
と秋空

歩道橋の下を歩く2人
連れはコロナのため
かきみしく見える



駐車場への赤い橋は
少し派手



薬師公園の湖面に映った松と杉、夏よりきれいに見える

仲のよい鴨の夫婦



鴛鴦はまだ独身

谷元 範章のページ

白梅



逆光で 河津桜



綿毛のスイテキ



黄花君子蘭



長谷川 進のページ

R4-3月 古民家のひな祭り
(祭りを彩る古民家の風情を発見)

↑【お祭りの朝】打ち水が来客を待つ

↓【囲炉裏端】朝陽を浴びる板の間





↑ 【箴欄間とフック】（おさらんま：竹や細木で格子状の組込み）
 縁側から覗く【段飾り】 ↑
 ↓ 【お化け摘み】土瓶の蓋はコミカル！



森恵美子のページ



出雲大社相模分祀
梅まつり
厄除け祈願

名水での手水
浮かんだ花もいきいき





飾り付けも 華やかに



上 田 良 光 のページ

春が来た!! 河津桜の雪化粧



雪の綿帽子をかぶる



春の暖かい日差しに
雪解けて

福寿草 花言葉は幸せを招く



秩父紅



青空に向かって鮮やかに



水仙 花言葉は希望

ふきのとう





梅の花

みつまたの蕾

